

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：平成 31 年 3 月 13 日

事業所名 児童発達支援 色えんぴつ

保護者等数（児童数）20 回収数 20 割合 100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2	0	1	・走り回ったり玩具を広げるスペースがあるので良いと思う。 ・いつも走り回っていて楽しそうなので問題ないです。 ・今は丁度良いスペースですがもう少し大きくなると少し狭いような気がします。外で走り回れる空間があるといいなと思います。 ・外に園庭のような感じのものがあるともっといいなと思います。	今は、一階の指導訓練室も併用しながら活動をしています。また天気の良い日はできるだけ近隣の公園へ行き、遊べるよう配慮しています。今後も工夫しながら対応していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	0	・たくさん話を聞いてくれ助かっています。 ・何かあってもすぐ対応してもらえるのでいいと思います。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	2	1	0	・部屋が2階にあるため良いこともあるのですが、障害の特性によっては不便であったり危険を感じることもあると思います。下の子を連れて通所となると靴を脱いで2階へというのが大変だと感じることもありました。 ・朝通所を嫌がった時に2階まで階段をあがるのが大変ですがそれくらいです。 ・2階への階段に低い手すり（小さい子供の腰の高さ）があると良いと思います。 ・2階の階段前の柵は簡単に開けられるので一人で行ってしまうのではと心配な時がある。	階段前の柵は簡単に開閉できるため、早急に検討していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	0	0	0	・階段を上った所にある柵は1歳の子供でも簡単に開けてしまい危ないと感じたことがありました。簡単なロックがかかる物にしてもらえたら嬉しいです。エレベーターもあるので使いたい子は使っても良いとしてもらえたらいいなと思いました。 ・ここは何をする場所とわかりやすくなくて子供達にいいと思います。	エレベーターは危険防止のため普段は停止していますが、検討していきたいと思っています。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	0	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	1	0	1	・わかりやすく説明して下さるのでとても助かっています。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	0		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	1	0	1	・いろいろなことをやってくれていて、家ではできない体験がたくさんできます。 ・いろいろなことを体験できて楽しめているようです。	

⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	4	12	・交流は良い影響を受けると思っています。ぜひ機会を設けていただきたいと思います。 ・幼稚園の園庭開放に参加できています。	今後、交流については検討していきます。
⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1	0	0		
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20	0	0	0		
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11	5	0	4	・家での支援方法を考えてもらえて助かっています。 ・どのように対応するのが良いか親から聞くことも大切かと思う。	
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	0	0	0	・日々変化する発達の具合もよく見て下さっており、こちらの悩みにも耳を傾けてもらえています。 ・通所の様子をよくお話してもらったり家での様子をよく聞いてもらっています。 ・毎日出来事について話してくれるので新たな発見があります。 ・連絡ノートやその日の終わりに先生から様子を伝えてもらっています。	
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	0	0	0	・支援計画も定期的に見直しをし、その時の子供の状況に合わせた支援をしてもらえていると思っています。 ・家での様子と違う点もあり、頑張っているのも見えてきて嬉しく思います。 ・面談でアドバイスを頂いて助かっています。	
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	5	8	・帰りの際の挨拶等でコミュニケーションはとれているので満足しています。 ・保育参観で他の保護者と離すこともあるので特に不満はありません。 ・短い期間なのであまり話せる機会もないと思う。	
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1	0	0	・連絡ノートに書いたり、口で伝えたことに対して先生からどんな対応をしてもらえたかが返答していただいています。 ・聞けばその場で直ぐに対応してくださり、とても助かっています。送り迎えの忙しい時間に話すことが多いのですが、大変な中でも対応してくださりとてもありがたいです。	
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1	0	0	・連絡ノートやその日の終わりに連絡できています。	
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	3	0	5	・ホームページ等は閲覧していませんが、日々の様子や行事は連絡ノートでこまめに連絡してもらっているため満足しています。 ・会報で遊んでいる様子の写真を見て、楽しくやっていることが伝わりました。 ・ホームページの更新を教えていただけると（楽しみなので）ありがたいです。	ホームページ等を更新した時にはすぐにお知らせできるようにしていきます。

	①⑨	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20	0	0	0	
非常時等の対応	②⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	3	0	5	
	②⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	0	0	6	・説明はしていただきましたが、まだ訓練に参加していないため付けさせていただきました。 月に一度訓練を行っていますが、定期通園でないため参加できない場合があります。どのお子さんも参加できるよう配慮していきます。
満足度	②⑫	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	1	・仲良しの友達に会うのを楽しみにしています。たまに帰りに外で遊んでいます。 ・初めは少し戸惑っていましたが今は進んで支度をし、バイバイします。 ・朝はぐずりますがだいぶ切り替えも早くなり、友達と楽しく活動できているようで嬉しく思います。 ・母親と離れる時だけかなり嫌がりますが、帰宅してから所内での様子を楽しそうに話しています。 ・今日は行かないのかよく聞かれます。
	②⑬	事業所の支援に満足しているか	19	1	0	0	・通い始めてから自分でやろうという気持ちが芽生え、少しずつ成長している姿を見て通えてよかったと思います。 ・通所することで日々の成長スピードも違ってくる感じもありとても感謝しています。 ・話しやすいので相談しやすいです。 ・行き始めてからずっと家庭だけでは得られなかった成長が見られて満足しています。 ・とても満足しています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

別紙3

公表：平成 31 年 3 月 13 日

事業所名 児童発達支援 色えんぴつ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1	1部屋を活動毎に工夫して使っている。	
	②	職員の配置数は適切である	2	1	人員基準は満たしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	支度・食事・着脱の場所等、空間を設定している。階段前には危険防止のため柵を設置している。	柵は誰でも開閉できるため、改善する必要がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	1部屋のため、遊ぶ場所、活動する場所を設定し、利用児にわかりやすくなるよう分けている。	今後も利用児の状況や特性に合わせた空間設定をしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	1	会議や日々の話し合いで報告や確認を行っている。	全員に周知できるよう徹底していく。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	保護者からの意向等を聞き、会議等での周知、話し合いを実施している。	今後も業務改善に努める。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		第三者評価は受審していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	支援会議、職員会議、法人研修、外部研修等に参加。	今後も積極的に研修へ参加する機会を設ける。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	2	1	アセスメントの実施、保護者からの要望等を職員に伝え、話し合いを重ね、計画作成を行っている。	全員に周知できるよう徹底していく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	スケジュールの提示や視覚支援、予定の確認等を実施。	利用児の特性に合わせたツールを実施していく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	1	保護者の面談、利用児のアセスメントを元に支援計画を作成している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	会議や日々の話し合いで報告や確認を行なっている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	1	会議や会議以外での勤務時間に話し合いを行い、活動プログラムを立案している。	時間を調整し、全員で行えるよう徹底していく。

へ援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1	利用児の状況により、静と動の活動を取り入れたり、グループ分けをして活動を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	1	利用児の状況に合わせ、作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	予定表やホワイトボードを活用し、全員で確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	気になったことは終了時だけでなく、その場で伝え合っているが、時間的に難しいことが多いため、翌日になることがある。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	ケース記録、日誌等に記録している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2	1	定期的実施している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	児童発達支援管理責任者が参画している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	関係機関と情報共有し、密に連携を取っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	就園先の保育所や幼稚園と情報共有をしている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	同法人内の施設と情報共有や連携をとっている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	3	他の園児との交流する機会は設けていない。	今後検討していく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	3	参加はしていない。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	保護者とは送迎時や面談、連絡帳を通して利用児の様子を共有している。	

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	3		
保護者への説明責任等	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	1	契約を行う際に説明を行い、改定があった場合等はその都度お知らせをしている。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	1	保護者に対し個別に、支援計画の内容について詳しく、説明し、同意を頂いている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	送迎時や連絡帳、面談等を通して保護者の相談に応じ、助言をしている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	父母会はなし。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	職員には伝達を行い、相談者、協力者を募り、適切な対応を心掛けている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	不定期ではあるが会報を発行している。	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	3	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	視覚支援や構造化に取り組み、それぞれにわかりやすく配慮に努めている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	3		民生委員の受け入れはある。	
非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	1	マニュアルの策定はあり、周知しているが、保護者に対して周知できていない部分がある。	全員に周知できるよう徹底していく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	毎月1回防災訓練を実施。しかし利用児は毎日の利用ではないため、全ての参加は難しい。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	事前に聞き取りを行い把握している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	事前に聞き取りを行い把握している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	3	事業日誌に記入し、会議の場で話し合いを行っている。	ヒヤリハットノートを作成し、共通理解に努めていく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	定期的に会議を行い、話し合いの場を設けている。	

④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1	支援計画をもとに説明を行い、保護者に同意書を記入して頂いている。	
----	--	---	---	----------------------------------	--

○この「児童発達支援自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。